

「教会の誕生」(出発)

使徒の働き 2章1-21節

1

五旬節の日になって、皆が同じ場所に集まっていた。すると天から突然、激しい風が吹いて来たような響きが起こり、彼らが座っていた家全体に響き渡った。また、炎のような舌が分かれて現れ、一人ひとりの上にとどまった。すると皆が聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、他国のいろいろなことばで話し始めた。エルサレムには、敬虔なユダヤ人たちが、天下のあらゆる国々から来て住んでいたが、この物音がしたため、大勢の人々が集まって来た。彼らは、それぞれ自分の国のことばで弟子たちが話すのを聞いて、呆気にとられてしまった。彼らは驚き、不思議に思ってしまった。「見なさい。話しているこの人たちはみな、ガリラヤの人ではないか。それなのに、私たちそれぞれが生まれた国のことばで話を聞くと、いったいどうしたことか。使徒2:1-8

2

私たちは、パルティア人、メディア人、エラム人、またメソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントスとアジア、フリュギアとパンフィリア、エジプト、クレネに近いリビア地方などに住む者、また滞在中のローマ人で、ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレタ人とアラビア人もいる。それなのに、あの人たちが、私たちのことばで神の大きなみわざを語るのを聞くと、人々はみな驚き当惑して、「いったいこれはどうしたことか」と言い合った。だが、「彼らは新しいぶどう酒に酔っているのだ」と言って、嘲る者たちもいた。ペテロは十一人とともに立って、声を張り上げ、人々に語りかけた。「ユダヤの皆さん、ならびにエルサレムに住むすべての皆さん、あなたがたにこのことを知っていただきたい。私のことばに耳を傾けていただきたい。今は朝の九時ですから、この人たちは、あなたがたが思っているように酔っているわけではありません。使徒2:9-15

3

これは、預言者ヨエルによって語られたことです。『神は言われる。終わりの日に、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。その日わたしは、わたしのしもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。すると彼らは預言する。また、わたしは上は天に不思議を、下は地にしるしを現れさせる。それは血と火と立ち上る煙。主の大いなる輝かしい日が来る前に、太陽は闇に、月は血に変わる。しかし、主の御名を呼び求める者はみな救われる。』使徒2:16-21

4

五旬節(ペンテコステ)

- 五旬節=ペンテコステ=50番目(50日目)
- 初穂の祭り 比23:15-21
- 後にシナイ山で律法を受け、契約を締結したことを祝うようになる。
- 教会暦では聖霊降臨(こうりん)祭
- 弟子たちは神の約束を待っていた
- 主を待つ=主を(主の言葉を)信頼する
- アブラハムとサラの失敗(ハガルとイシュマエル)

5

ペンテコステ(五旬節)

- エルサレムから始まるメッセージは、「罪の赦しを得させる悔い改め」(ルカ24:47)
- 憎み合っていたサマリヤの人々にも
- 異邦人にも(壁をこわして一つとなる)
- 今日のエルサレム(パレスチナ)のメッセージ?
- 仲良くできない、やられたらやりかえす?
- 強いほうが勝ち?
- 人間の価値?人間の勝ち(勝利)?

6

ペンテコステ(五旬節)

- 教会のメッセージ、赦し合いと愛し合いのメッセージ？
- 「医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人です。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためです。」ルカ5:31-32
- 教会は、神の「オペ室」、「病院」、「リハビリ訓練室」、「練習場」「道場」(どうじょ)
- 主の祈りの心、生き方を練習する

7

聖霊のバプテスマ(降臨)

- 天からの「激しい風」、聖霊 2:2,4
- 霊＝「ニューマ」＝風 神の霊＝神風
- 日本史が教えてくれる、間違った(偽の)神、神の国、神風
- 「権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって。」と万軍の主は仰せられる。ゼカリヤ4:6
- 誰に聖霊が下った？ 神殿？ 祭司長たち？
- 「無学の普通の人」である弟子たち(使徒4:13)

8

聖霊のバプテスマ(降臨)

- いろいろな国の言葉で話し始めた
- いろいろな国語＝「異言」
- この現象は、バベルの塔(創世11章)の逆のイメージ
- ばらばらの人間が一つになる(赦しの悔い改め)
- 創世12章 アブラハムへの約束
- 地上のすべての人がアブラハムの子孫によって祝福される、の実現 ガラテヤ3:16

9

聖霊のバプテスマ(降臨)

- 『神は言われる。終わりの日に、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。その日わたしは、わたしのしもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。すると彼らは預言する。また、わたしは上は天に不思議を、下は地にするしを現れさせる。それは血と火と立ち上る煙。主の大いなる輝かしい日が来る前に、太陽は闇に月は血に変わる。しかし、主の御名を呼び求める者はみな救われる。』使徒2:18-21
- 神の約束の成就、計画の実現

10

聖霊のバプテスマ(降臨)

- 「主の言葉—わたしは、わたしの律法を彼らの心に置き、彼らの思いにこれを書き記す。」ヘブル10:16 (心)
- 「ですから、あなたがたは悪い者であっても、自分の子どもたちには良いものを与えることを知っています。それならなおのこと、天の父はご自分に求める者たちに聖霊を与えてくださいます。」ルカ11:13

11

聖霊のバプテスマ(降臨)

- ペンテコステは矢印、看板、十字架で殺されたイエス様は約束通り復活された。昇天されたイエス様は約束通り聖霊を送ってくださった
- 主は生きておられる、主は聖霊によって、主の働きと教えを続けておられる。使徒1:1
- 「見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」マタイ28:20
- イエス様に教えられながら、一緒に生きる。

12